

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点

第4回シンポジウム開催報告

東京大学情報基盤センター

東京大学情報基盤センターでは、7月12日(木)・13日(金)に「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点第4回シンポジウム」をUDX GALLERY(秋葉原)で開催し、209名の参加者(大学125名、独法等研究機関24名、企業他60名)を迎えて盛会のうちに行われた。

「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点」(以下、当拠点)とは、北海道大学、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学のスーパーコンピュータを所有する8つの共同利用施設を構成拠点とし、東京大学情報基盤センターがその中核拠点を担う「ネットワーク型」の共同利用・共同研究拠点である。毎年度、共同研究の公募・採択を行い、当拠点との共同研究を実施する。

今回のシンポジウムは、平成23年度に実施された公募型共同研究39課題の口頭発表による最終報告および平成24年度公募型共同研究に採択された全35課題のポスター発表による研究内容紹介を実施した。口頭発表、ポスター発表ともに、一般の参加者も交えた活発な質疑や意見交換が行われた。

シンポジウム初日には、石川裕総括拠点長(東京大学情報基盤センター長)による主催者挨拶と、下間康行文部科学省研究振興局情報課長の来賓挨拶もあった。それに続けて2日間に渡り、当拠点の研究分野である、超大規模数値計算系応用分野、超大規模データ処理系応用分野、超大容量ネットワーク技術分野、超大規模情報システム関連研究分野およびこれらの分野にまたがる複合分野研究の研究発表および研究内容紹介が行われた。

閉会では、小林広明課題審査委員長(東北大学サイバーサイエンスセンター長)からシンポジウム全体のサマリーを含めた挨拶があった。

当シンポジウムのプログラム、平成23年度採択課題の最終報告書および平成24年度採択課題の発表ポスターは次のURLから参照可能である。

■学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点第4回シンポジウムホームページ

<http://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/sympo/>



シンポジウムの様子



ポスター発表の様子